

2020年9月30日
ボルグワーナー

ボルグワーナー、ゼネラルモーターズ(GM)の 2019年サプライヤー・オブ・ザ・イヤーの一社に認定

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/ Frédéric B. Lissalde)は、2020年6月24日水曜日、ゼネラルモーターズ(GM)主催による、第28回サプライヤー・オブ・ザ・イヤー(最優秀サプライヤー賞)の受賞式典で、2019年サプライヤー・オブ・ザ・イヤーの一社に選ばれました。今年の式典は新型コロナウイルスの影響によりバーチャルでの開催となりました。

式典では、期待値以上の成果を出し続け、優れた付加価値を提供し、GMにイノベーションをもたらした、15か国のベスト・サプライヤー116社が表彰されました。授賞式はもともと3月にリアル・イベントとして開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により延期されていました。選考基準は2019年暦年における各サプライヤーの貢献度です。

昨年、GM サプライヤー・オブ・ザ・イヤーの授賞式で、ボルグワーナーはガソリンエンジン用デュアル・ボリュート・ターボチャージャーを対象に、2018年 GM イノベーション賞を受賞した4社のうちの1社に選ばれています。

GM グローバル購買・サプライチェーン担当事業部長、シルパン・アミン氏は、「弊社がお付き合いをさせて頂いているサプライヤーは、お客様にとって最適な製品、サービス及び経験価値を提供する上で重要な役割を果たします。受賞歴のあるサプライヤーは、弊社の期待を大きく超えていました。また、ここ数か月の間、新型コロナウイルスの影響を最小限に留める弊社の取り組みにご尽力いただいたサプライヤーの皆さま全員に対し、ここで感謝を述べさせていただきます。弊社が安全に生産を再開できただけでなく、人工呼吸器や医療従事者向けの個人用防護具(PPE)の供給量を増やす弊社の取り組みをサプライヤーの皆さまにご支援いただきました。人命を救い、地域の安全を確保する上で、多大な貢献をして頂きました」と述べています。

サプライヤー・オブ・ザ・イヤーの受賞者は、GMの購買、エンジニアリング、品質、製造及び物流の各部門の幹部からなるグローバルチームにより選出されました。受賞者は、製品購買、グローバル購買および製造サービス、カスタマーケアとアフターセールス、および物流の各部門における選考基準に基づいて選ばれました。

ボルグワーナー社長兼 CEO のフレデリック・リサルドは、
「自動車サプライヤーとして、チームの絶え間ない努力、提供する付加価値、そして優れた製品やサービスが OEM の顧客から認められることほど、報われた気持ちにさせるものはありません。GM の 2019 年サプライヤー・オブ・ザ・イヤーに選ばれたことを大変光栄に思っており、今年以降、GM との関係がより強固に結ばれることを期待しています」と述べています。

GM の 2019 年サプライヤー・オブ・ザ・イヤーに加え、ボルグワーナーのいくつかの拠点が GM の 2019 年サプライヤー最優秀クオリティ賞を受賞しています。受賞対象はイリノイ州のベルウッド工場、中国の天津工場、インドのマーネーサル工場、ブラジルのブルスケ工場及び韓国の昌寧(チャンニョン)と平澤(ピョンテク)工場です。特に韓国の両工場は、それぞれ 3 年連続及び 5 回連続で同賞を受賞しました。



28 回目となる**サプライヤー・オブ・ザ・イヤー**を称える GM 主催のバーチャル式典で、
ボルグワーナーは 2019 年**サプライヤー・オブ・ザ・イヤー**の一社に選ばれました。

ゼネラルモーターズ(NYSE ニューヨーク証券取引所:GM)について

GM は、より優れた、かつ安全で持続可能な移動手段を人々に提供できるよう日々取り組んでいるグローバル企業です。GM や子会社および合弁事業は、シボレー(Chevrolet)、ビュイック(Buick)、GMC、キャデラック(Cadillac)、ホールデン(Holden)、宝駿および五菱の各ブランドのもと自動車を販売しています。GM 本社および、自動車の安全とセキュリティ・サービスのグローバルリーダーであるオンスター(OnStar)などの子会社に関する詳細については、<http://www.gm.com> をご覧ください。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 19 カ国 67 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 29,000 人の従業員を擁しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K の第 1A 項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、佐藤

TEL:03-3571-5326 FAX:03-3574-0316

EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp